

★ 2025年植樹活動Report ★



2022年より地球温暖化防止への取り組みとして山梨県笛吹市において持続可能な森づくりを目指し、地域の自然環境を守るための植樹活動を行いはじめて今年で4年目となりました。

2024年に参加いただいた埼玉県三芳町のこどもエコクラブ『竹の子エコクラブ』の子ども達12名とサポーター12名で植樹活動を行いました。

(株)日の丸リムジン、シティパークアンドサービス(株)の社員は 37名 参加

* 『こどもエコクラブ』は日本環境協会による子供たちのエコ活動を支援する事業。
当社はEV車（電気自動車）1運行につき500円を同クラブに寄付をしています。



まずは森の管理をして下さっている黒坂オートキャンプ場様より森に住む生き物・木の役割、広葉樹と針葉樹の違いなど説明いただきました。

森に住む生物：シカ、イノシシ、ムササビ、リス、タヌキ、キツネ、野鳥

・シカ：クヌギやコナラの若芽やドングリなどの実、草を食べる。



★ 2025年植樹活動 Photo Gallery ★



木の役割：

- ・ 水を育む：木の根が地中に水を蓄え、雨が降ったときにゆっくりと流すことで、川の水量を安定させたり、水害を防いだりする。
- ・ 空気をきれいにする：光合成によって二酸化炭素を吸収し、酸素を生み出すことで、地球温暖化の防止にも貢献している。
- ・ 生き物のすみか：木の幹、枝、葉、根などが鳥や昆虫、小動物の住処に。落ち葉は土に還り、微生物や菌類を育てる土壌になる。

広葉樹と針葉樹の違い：

	広葉樹	針葉樹
主な木々	クヌギ、コナラ、カエデ、ブナ etc	スギ、ヒノキ、アカマツ、モミ etc
季節の変化	大量に落葉（紅葉）	多くは常緑（年中緑）
地面の違い	下草が生えにくい（落葉により地面が覆われ、草の芽が出るのを防げる）	下草が生えやすい（地面に光が届き安く、草が育ちやすい環境）
特徴	深く地中に根を張り、地盤をしっかり支え、落ち葉は腐葉土となり、水を含んで流れにくい土壌つくる。	根が浅く、広がりが少ないため、土をしっかりと固定する力が弱く、土壌が崩れやすい。
特徴2	生態系の多様性を支える。どんぐりなどの身が動物の食料になる。	伐採・利用しやすい（建築材・林業に適する）



★ 2025年植樹活動 Photo Gallery ★

苗木を植える前に根が伸び広がるよう、20cmほど深く穴を掘ります。

根を傷めないように苗木を植え付け、接木苗の接木部分は地上に出し、深植えしないようにします。

培養土を入れます。

水をかけます。

穴を掘った際の土を盛ります。

盛った土を踏み固めます。

目印の棒にピンク色のリボンをつけシカ対策。



★ 2025年植樹活動 Photo Gallery ★



★ 2025年植樹活動 Photo Gallery ★



オタマジャクシが
沢山誕生しており、
植樹終了後、撮影



* 2024年植樹した苗 *
上の方に出てきた若芽
は柔らかく美味しい
のでシカに食べられる
被害に。



* 2022年植樹した苗 *
大きく育っていました。



笛吹市の森は、古くから人々と自然が共に生きてきた場所です。

自然を活かす同市の想いから人工林のスギやヒノキではなく、この地に昔から生えているクヌギの苗木を36本植えました。

クヌギはどんぐりを実らせ、里山の生態系にとって重要な役割を果たす木です。

山の奥深くに生息していた鹿が近年、食料不足により人里近くまで下りてくるようになってきました。

その影響で地域の農作物や果樹園への被害に加え、クヌギやコナラは鹿の好物でもあり、私たちが昨年植樹したクヌギの苗木の新芽は柔らかくて新鮮なため食べられてしまいました。

今年は、植樹した苗木を守るための防鹿対策としてピンク色のリボンをつけました。

これからも植えて終わりではなく、苗木の成長確認・育樹、など森林の環境も植樹ができたらと、当社として環境問題に取り組みを継続し、将来『日の丸の森』が出来ればと考えております。

自然との共生を目指し、生き物にも人間にもやさしい森づくり、より効果的な自然再生の取り組みを続けていきたいと思っています。

私たちは今後も温暖化防止の活動を続けてまいります。

★ SDGs勉強会 Photo Gallery ★

こどもエコクラブの子供たちに日の丸リムジンの紹介となぜSDGsに取り組むのかを説明。



日の丸リムジンが会社でできるSDGs



こどもエコクラブの子供たちの活動内容を作成した素敵な壁新聞を展示し、発表していただきました。



★2024年竹の子エコクラブの活動

- ・こぶしの里：「森のビンゴゲーム」
- ・ビオトープの手入れ
- ・コナラの木の手入れ
- ・ツリーイング：ロープを使った木登り
- ・落ち葉はき



「落ち葉堆肥農法」は三芳町で300年以上伝承されている「世界農業遺産」認定された農法。

- ・日の丸リムジンと山梨で植樹活動

★竹の子エコクラブへ質問

Q1.ツリーイングではどのくらいの高さまで登るのか？

A1.コナラの木：子供10m、大人15mの高さ

Q2.堆肥農法の落ち葉はどのくらいの量？

A2.20トントラック4～5台分

Q3.こぶしの里にはどんな生物がいますか？

A3.バッタ、シジミチョウ、サワガニなど

Q4.今後どんな活動をしたいですか？

A4.ずっとツリーイングを楽しめるよう、コナラの再生



★ SDGs勉強会 Photo Gallery ★

SDGs動画視聴（地球温暖化による気候変動の現状とその影響、私たちが取るべき対策）

SDGsクイズ



Q1.横断歩道で目の不自由な人を誘導する音響信号に最も多く使われているものは？

A1.かっこうなどの鳥の鳴き声（警察庁は2003年に音響信号の音を鳥の鳴き声式に切替を決定）

Q2.太りすぎや痩せすぎなど、栄養バランスが適切でない日本人の割合はおおよどれくらい？

A2. 3人に1人（適切な体重を維持できている日本人は約60％）

Q3.食品トレイや包装紙などのごみは、家庭から出るごみの量のうち、どれくらいの割合？

A3. 6割

Q4.世界で1年間に作られる食べ物のうち、どれくらいの量が食べられずに廃棄されている？

A4. 4割（約25億トン、20億人分の食糧が廃棄。）

Q5.世界的な猛暑について、国連のグレートス事務総長は何の時代が到来したと述べた？

A5.地球沸騰化（令和5年7月気候変動による最悪の事態の回避を訴えました。）

Q6.本来、捨てるはずだったものに手を加え、価値を高めて商品化することを何と呼ぶ？

A6.アップサイクル（別名：創造的再利用、1994年にドイツの企業が提唱）

Q7.日本で捕れるサンマ、サケ、スルメイカの漁獲量は、2014年から5年間で何%減った？

A7.約74％（水産庁としては初めて、不漁の原因を「地球温暖化や海洋環境変化などに起因する資源変動」による）

SDGsグループディスカッション

